

# オーストラリアの休暇とウォーク

2011.4.10-16

オーストラリア クィンズランド州 ケアンズ滞在

参加者 11名

リーダー 大平

サブリーダー 平嶋 仲 田村啓

天候 晴天つづき

合計歩数 約120000歩（大平の歩数計で）

レポート 大平



pm9. 15発にも関わらずpm5:30に成田空港に集合 出発前にも疲れ果てました ドルレートどうだった？ 私99.50円だったわ



待つのも疲れるね



やっとジェットスター航空の飛行機が搭乗口に横づけしました



関空で乗り換え長旅の末 やっとオーストラリア ケアンズに着きました。小さなローカル空港でした



農業国オーストラリアの食べ物持ち込み禁止という厳しい関門を潜り抜けほっといたしました。全員罰金を取られず無事入国できました



ホテルについてやれやれ しかし今晚からの宿泊のため部屋には入れません



これからお世話になる森さとみさんからガイダンスを受ける



まず市内観光 バスで30分ほど高級リゾート地パームコープのビーチにて



やっと外国に来た気分になりました



まぶしい夏の太陽を浴び まずは記念写真



自然の海岸しかしヤシの木の向こうにはホテルがあります ホテルの高さまで規制して美しい海岸の景観を保っています



まぶしい海岸と明るい太陽のもとすっかりバケーション気分



青松夫妻その服装では暑すぎない？



地元の子供が鯛の大物を釣り上げ自慢したくて見せてくれた 僕が釣ったんだよ！！



なんの花かしら



おれもとってもらおうかな



ついでに僕も



バロン河にかかる橋にて



バロン河 若者たちがここでラフティングするコースもあるという



滝をバックに



翌日ホテルの前の海岸の散策路で美しい海を見に行く



ブレックファースト



そして無人島の観光のメッカ グリーン島に向かう



海がきれいでした



グリーン島にて 日差しが厳しい





グリーン島の散策路にて



日の当たるところは暑く、林の中が丁度いい



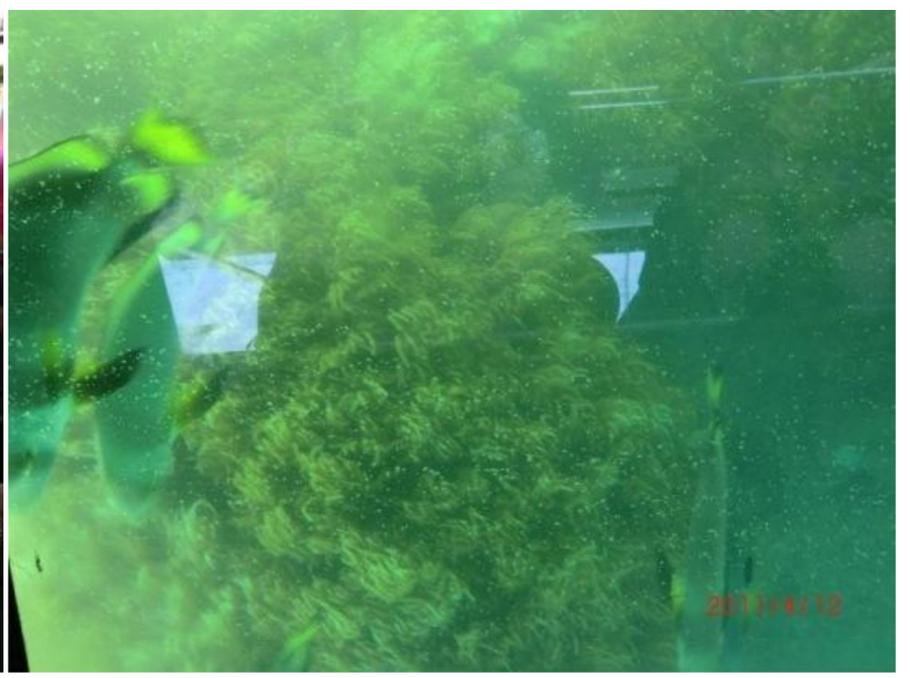
海の色 コバルトブルーとは言い難い



栈橋を歩くご存知の面々



この栈橋の先端に本土を繋ぐ観光船が止まります



グラスボートで海底の魚 サンゴを観察 水が少しにごっているせいか色彩が今一



折角来たのだからと海に入ってみる 紫外線防止帽子



勇気ある仲間3人がシーウォークに挑戦 ウェットスーツを来ていざ出発



勇気がないメンバーは海岸で思い思い待っていました  
鯨を見に行ったグループもありました



私やったのよと満面の笑み すごくよかったよ 魚と友達になって来た  
勅使河原さんも興奮していた 今度あったら話を聞いてあげてください  
私（大平）シーウォキングやっていないけど体験談は話せるようになりました

ホテルに帰る



グリーン島でのランチ

朝また海岸に出て



今日はキュランダにこの汽車でいきます レトロの感じが旅情を盛り上げる



車内にて



車窓の風景



車内にて



車窓の風景 ケアンズ郊外の住宅



列車ガカーブにさしかかる



外を見る人 眠る人



汽車はだんだん熱帯のジャングルに入っていきます



線路が華奢で少し怖い



途中でバロン滝を見るための停車場に泊まる



バロン滝



私熊島 後バロン滝



キャラダの終点の町



植物園を見学



トカゲ?



待望のコアラ 昼はじっと寝ています



係員に抱っこされているコアラ



ワラビちゃん食べてよ



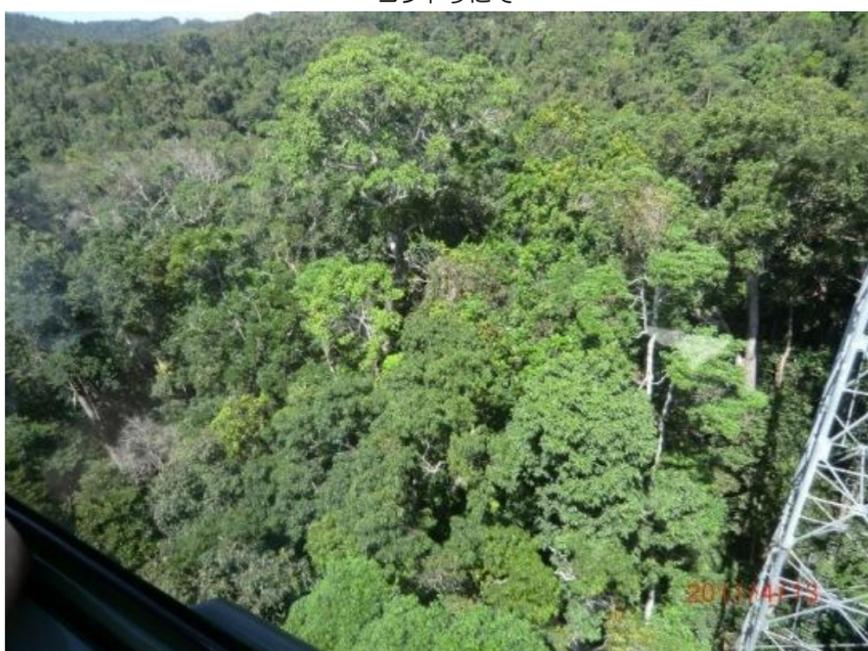
スカイレールのゴンドラで森さんが撮ってくれた



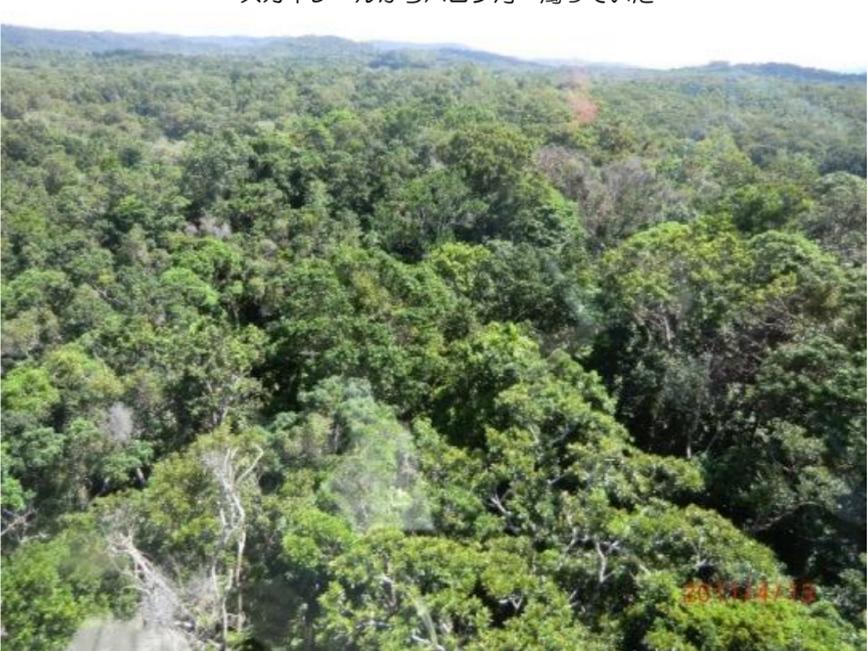
ゴンドラにて



スカイレールからバロン河 濁っていた



熱帯雨林の頭上を往く



このゴンドラが止まったらこのジャングル中どうするかとサバイバルの方法を話し合う



ジヤングルの上を往く箱根のロープウェイ以上の迫力



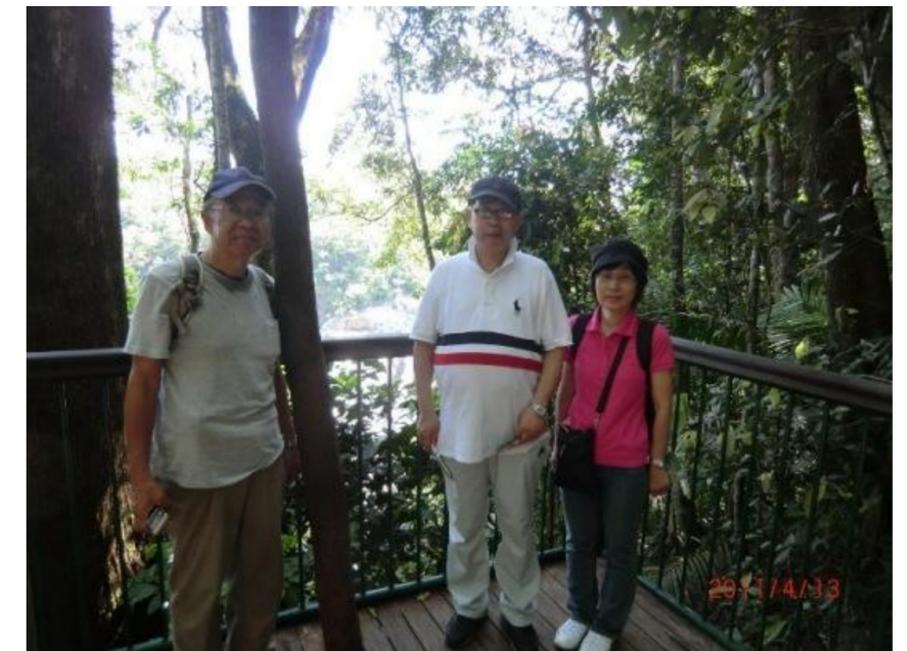
途中バロン滝のLOOKOUTで



途中ゴンドラ乗り換えます



密林で遭遇すると怖い鳥エミュー 爪の大きく鋭い 一撃されたらと思うと明日のウォーキングが心配になる 密林には居るのでカバンを前に突き出して後ずさりするとことと森さんがおどかさから





ディナー これは序の口



ディナーに向かう途中での夕陽の海岸



イエー



森さんに紹介されたクックブルでディナー 予約なしでテーブルを占領  
カタコト英語で順番に注文にチャレンジ 皆さん通じたご満悦 ビールワインで  
まずは乾杯



ディナー後ホテルの庭で11時ころまでたむろ涼しくて気持ち良い夜



帰り道 海岸で南十字星をさがす 涼しい風が心地よかった



ホテルのガーデンで話に花が咲きました。



写真が前後していますが デイナーのクックブルー適当に歩いたので見つかるまで心配でした

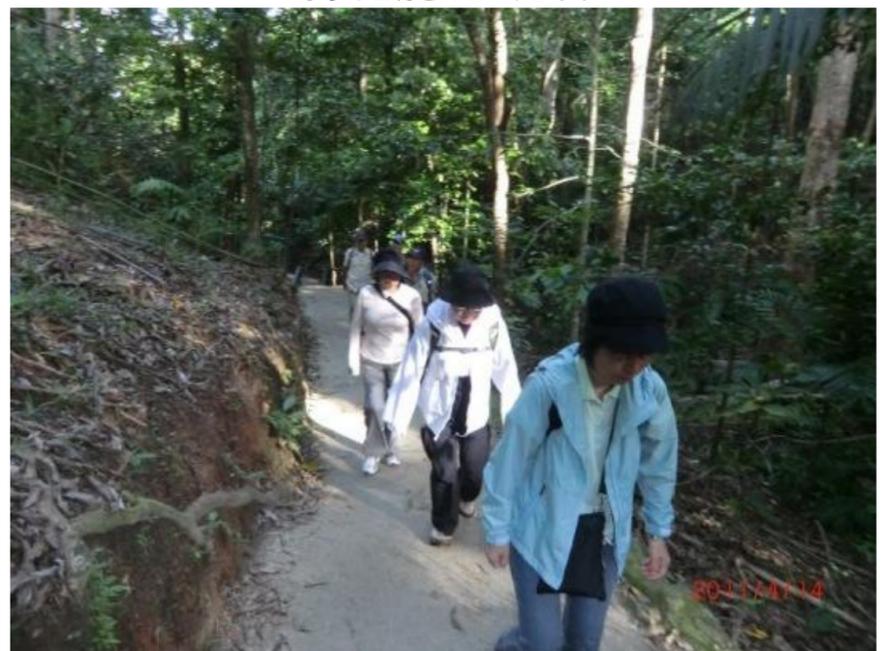
4/14 今日山登りもある本格ウォーキングです  
ウォーキングコースはガイド無しの ブルーアロー レッドアローのトレッキングコースです



まずは田村さんのストレッチ



すぐに到着したレッドアローコースの展望台にて



仲さんリーダーでいよいよ出発です



展望台で





さすが熱帯雨林 日がさしこまず暑さもしのげます



丈夫な根の張り方 みてください



ガサッ エミューかと一瞬恐怖でたちどまる



ブルーアローは歩く人もなく、昼なお暗いジャングルを往く



花もいろいろ



GROSS LAND ? 草の島 あそうか 草原ということか



ドングリのような汗(勅使河原さんの表現拝借)をかいてようやくだ着きましたブルーアローの終点



日本語でこんにちはと言われて ついHELLOと応答してしまう もうすっかり英語人間になってしまったメンバー なかよくパチリ



花のようなきのこ めずらしい



やっともと来た道にもどりました



とげがでているめずらしい木にも遭遇いたしました  
北半球と南半球では蔓の絡まり方が逆とか



ヤシの葉で竹のような幹 また途中で色が赤くなったりしている大変めずらしい



ヤシの木は街路樹に沢山ありました 頭上から実が落ちてくるから要注意とのこと



ウォーキング後ホテルでさっぱりして、一番良い服を来てディナークルーズに参加することになりました



まずはシャンペンを戴きました



デッキで一休み



欧米の夫人は皆イブニングドレスで正装しています 我がクラブのご夫人方は？



この日は飲み放題でバイキング エビあり蟹ありの高級食材でまたタッブリオジービーフを食べました。ワインも飲めるだけ飲みました



美味しかったわね



私のお皿の取り方上手でしょ



上品に食べています



この肉なかなか切れない



テッシーもご満悦



青松夫妻が雰囲気に乗って音楽に合わせて踊りました



青松奥さんはダンスの名手です



教えてあげるわよと



平嶋さんと青松さんも踊りました



船上デッキで本当の南十字星をおしえてもらいました。光輝く南十字星は誤りで、ほとんどの南十字星は2等星くらいの地味な星でした。うその南十字星もありますので要注意！クルーから正しく教えてもらいました。光輝く南十字星はうそです。



お手をつないで気持ちの良い海岸通りを歩いてホテルに帰ります

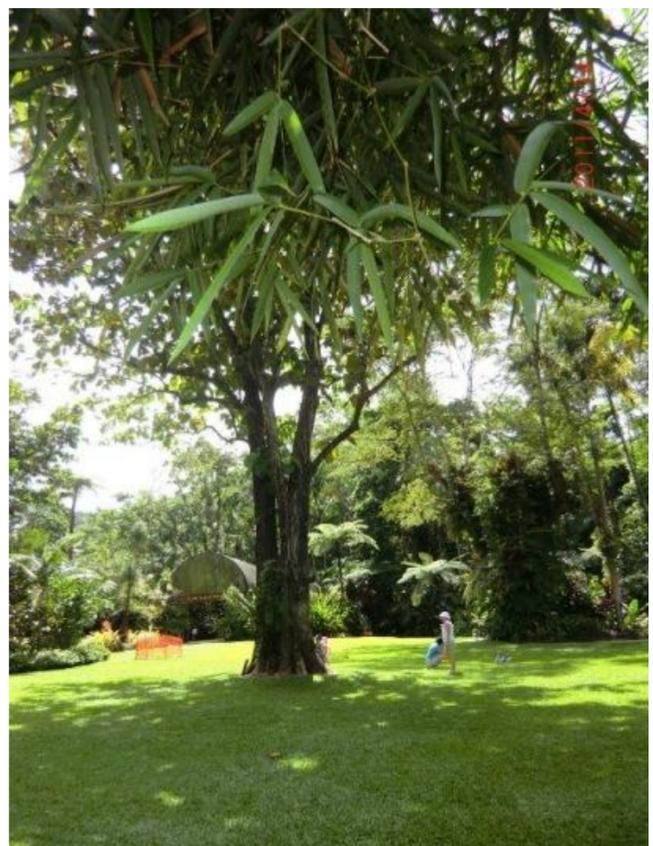


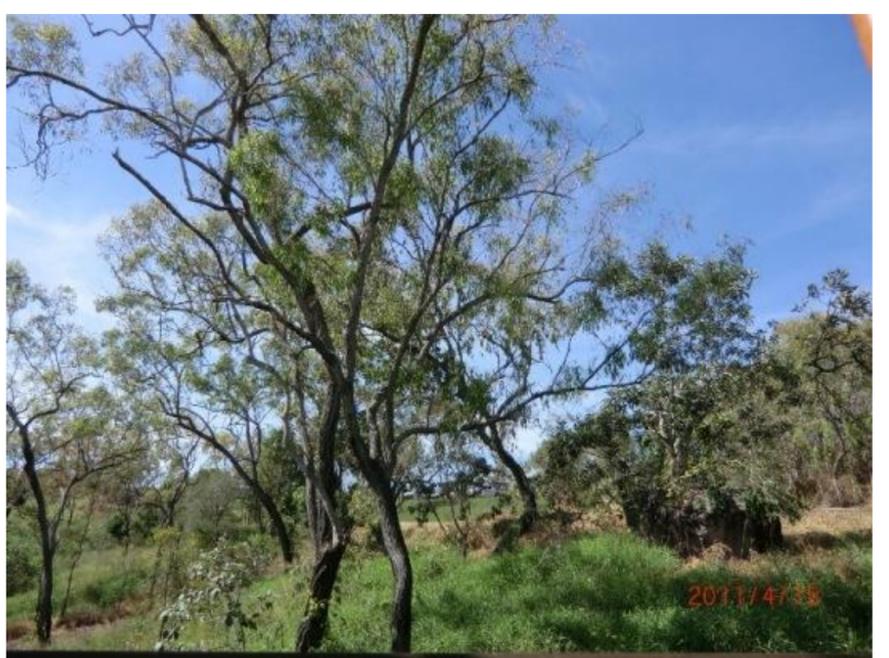
涼しくて気持ちいいね。平嶋さんが選定したダイナークルーズあたりでした！！



4月15日

今日はアサートン高原に観光ドライブに行きます





オリーブも沢山ありました



コーヒー栽培のショップで濃いコーヒーをたっぷりいただきました



森さんはどういう人 バツでお子さん無 名古屋出身 身上調査も聞きました



アリ塚も初めてみました。堅い岩石の感触です  
糞と唾液と土からできているそうです



内部は迷路のようになっています



車は日本製が多かった



博物館に立ち寄り開拓時代の道具がところ狭しとありました



次にグラニティ園でワラビと体面いたしました



餌をもらうしぐさがなんとも可愛い



口にほうばるとぶいと横を向き、噛み終わるとまたちょうだいとくる  
その食べている間は人間様が待たされます 動作がなんとも愛くるしい





オーストラリアの広大な大地という視界



鳥と記念撮影 1

鳥と記念撮影 2



爬虫類とも記念撮影 しかし誰も志願者ないようでした  
ムジナ想像の絵に似ています



一面のバナナ畑



さあこれからこの湖バリン湖一周のウォーキングです



芝は太い葉で、プロゴルファーが悩ませられる芝でした



田村邦子さんのリーダで出発です 5.5Km のウォーキングです



先頭まかせて



男性陣は後方から





静かな湖をバックに記念撮影 逆光で残念でした



絵のような風景



クインズランド州の富士山



この日のディナーはグループに分かれてのディナー 夫婦ずれは別行動  
海岸通りを歩き、日本語の客引きに誘われて地中海料理店に6人で行く



予想以上に旨く、皆さん大満足  
2日目はフードコートに行って、なんとも味気ないディナーだったので、この日は大  
変満足した。



食べる前に写せばいいものを



食べ散らかした後に写してしまいました



5泊したリッツホテル デラックスということで、特に不満はでませんでした



ホテルで空港へのバスを待つ



楽しかったですか？



映像が不鮮明ですが 飛行機から眼下に見下ろす 世界遺産のグレートバリアリーフのエメラルドグリーン島の島が点々と見えました

#### 参加者の感想

**安永：**まずは大平リーダ、サブリーダの方に御礼申し上げます。海外旅行なので、下見もできない企画で大変気疲れされたと思います。重ねて、感謝、感謝です。海外旅行は15年振りでしたが、毎日サプライズの連続で笑いが止まりませんでした。(失礼)ケアンズは日本車、日本人の店員も多く、日本の経済力に誇りを覚たり安心して買い物をしてきました。また、日本を離れて、働いている方からも、日本を心配している話を聞いて、東日本の事を思い出しましたが、消費することも、小さな応援だと思い、食事、ウォーキング、夜の宴会と楽しみました。どうも、11人のメンバー、ありがとうございました。素晴らしいオーストラリア旅行しっかり楽しみました。

**田村啓：**皆様には、いろいろお世話になり、有難うございました。11日から16日迄の6日間が小さなケアンズの町の連泊でしたが、初日パームコープの素敵な海岸にオーストラリアの海をみて、夕方からは居酒屋レストラン「コック&ブル」でボリュームたっぷりのオージービーフのステーキやソーセージを着に4XやBVビールを煽り暑さを吹き飛ばす。二日目のグリーン島でコーラルオーシャンを目の当たりにし、三日目の列車でパロンの滝経由キュランダ訪問とスカイレールの旅、4日目は熱帯雨林のブルーアローサーキット6.6kmと手頃な距離をウォーキング、5日目は内陸へ足を延ばしてマリーバハ、コーヒー園を訪れ、入植当時を偲ばせる展示館見学、バリン湖での昼食と湖畔の散歩をしたアサートン高原のある雄大なテーブルランド等と面白みたっぷりの6日間でした。おまけに早朝及び夕方の軟らかい陽射しの中をホテルの前の整備されたエスプラネード海岸通りを歩くもよし、朝市、ナイトマーケット、ショッピングセンター、ウールワースのスーパーマーケットをぶらぶらするもよしとケアンズ(CAIRNS?)の街もしっかり堪能しました。今回の企画をした大平リーダ、コース設定をした森さん、フォローした平嶋さんに感謝・感謝です。

#### 勅使河原： グリーン島でのシーウォーカー体験記

ケアンズから15マイルのグリーン島はサンゴ礁の海。鮮やかな熱帯魚やウミガメ、ヒトデ、貝など数えきれないほど様々な水中生物たちが息づいている。海洋公園として保護され、世界中から観光客を呼び込んでいる島のようなのである。色々数あるオプションからシーウォーカー体験をした。ウェットスーツに着替え、迎いのポートに乗りこむ。基地まで約5分 30Kgの鉛のついたベルトを腰に巻き、宇宙ヘルメットのようなカプセルをクレーンで吊り上げ頭に被せる(カプセルの頭から酸素用のホースがついている)それで準備完了。いよいよ水中階段を一步一步降りる。海水がノドまで入って来た時、人生もこれで終わりかと非常に恐怖を感じた。5~6m降り、砂面に到着し、海水がこれ以上入らない事が確認でき、一安心、インストラクターの指示に従い手のひらに渡された「エサ」をタイのような大きな魚に食べさせた。汽車ぼっぼのようなリングの輪をそれぞれ手で持ち7名が海中散歩。おとぎ話の竜宮城とはこんな世界かと錯覚するほど大満足出来た。熊島 平石 勅使河原参加 150\$と高目だが設備、誘導員等考えるとそれだけの価値があったように思います。

**熊島：**神奈川ウォーキングクラブの会員11名でオーストラリアに行きました。ケアンズから27Km 沖合に浮かぶエメラルド色に輝く美しい島それがグリーン島です。6千年近い歳月を経てサンゴが堆積してできた島です。熱帯植物が茂りカラフルな鳥達が暮らしているパラダイスです。小舟で3分程度で基地に着きます。挑戦者7名うち2組は新婚さん我々3名の勇氣ある挑戦はまさに真剣そのものだった。40kgもある宇宙飛行士のようなヘルメットを被り海の中に潜るのだ。濡れずに海中散歩、泳げなくとも問題なしが魅力的かな。水深4~5m 太陽光が届き、キラキラと神秘的な海底を歩くのです。目の前を魚達がスイスイと泳いでいます。手で触れてみると何と固いことかビックリしました。両手に餌を入れると寄ってきます。わずか20分の別世界はまるで夢の国のようでした。

**青松秀：**しばらく、外国へ行ってないので、パスポートの取得より始まり、遠足や、修学旅行の前夜のようなワクワクした気持ちで行くことができました。それは楽しい仲間たちと行くことができるからです。私は飛行機は好きでないで、外国旅行はあまり行っておりません。ましてや2、3時間の飛行ならともかく7-8時間かけての飛行の旅することは全く考えていませんでしたが、いい機会と思い参加しました。成田より、関空によりオーストラリアの地に着いた時には、日本での地震のことや仕事のことその他のことをすべて忘れて旅行者としてケアンズの町を散策することができ、大いに興奮状態でした。1日目の市内の観光、2日目のグリーン島---島の周りの浜辺を歩き、天気もよく海がきれいで言葉もでませんでした。キュランダ観光、アサートン高原、ブルーアローでのウォーキング等すべて、事前の予定が準備されており、何の心配もなく旅を満喫することができ、天候にも恵まれました。幹事の大平さんには出発前の準備より、旅行中も人一倍、気を使ってもらい、旅行中はストレスも大分たまってようで、旅行中はよく、うちの奴と煙たいことをしていたようで、うちの奴も一人ではなく寂しい思いはしていないようでした。本当にお世話になりました。今回、私たち夫婦はせっかくオーストラリアにきたから、夜のお酒をいけどイロイロなオプションをしたいと申し出て、2人で夜の動物園に行きました。オプションツアーの参加者は約60名ほどいて、日本からの参加者は6名で残りがその他の外国の人でした。コアラ、カンガルー等の動物を見て、全員参加のフォークダンスのような地元の踊りをして、いろいろな国の人たちとの交流することができ、楽しい夜を過ごしました。翌々日の夜のオプションで今回の旅行参加者全員でのクルージング、船上でのディナーもおいしく楽しい一日となりました。旅行中は同じ夫婦で参加した田村さん夫妻と一緒に行動をすることが多く、道案内や、食事時につたない英語でお世話になり、安永さん、仲さん、勅使河原さんには夫婦ともどもいろいろ気を使ってもらい、また熊島さんにはウォーキング中の暑い中、タオルを忘れて中で一ついただいたり本当にお世話になり、また一緒に参加した、平嶋さん、平石さんたちとの11名の旅でしたけどワインを飲み私の人生の中でも楽しい思い出となって、無事に帰ってくる事ができました。これにこりて、来年も楽しい仲間と、楽しい外国でのウォーキングをしたいと、願い、ぜひとも今回の参加者の中でも思いやりのあった安永さんを幹事として、開催企画してくけるように希望してやみません。よろしくお願ひします。チェンマイですか ---最後にオーストラリアの旅は私たち夫婦にとっても楽しい素晴らしい旅になりました、幹事の大平さんをはじめとして、皆様には大変お世話になり感謝いたしております。